

平成 30 年 4 月 4 日

中小企業成長支援ファンド 「アクシル・ライフサイエンス&ヘルスケアファンド 1号投資事業有限責任組合」 に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構(略称:中小機構 所在地:東京都港区 理事長:高田坦史)は、新事業開拓促進出資事業(ファンド出資事業)において、アクシル・キャピタル・パートナーズ有限責任事業組合(東京都中央区/代表組合員・フレデリック シェーン)を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として 19 億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。なお、本出資は、中小機構が行っている「健康・医療事業分野投資促進出資事業」の公募に対して応募があったものです。

『アクシル・ライフサイエンス&ヘルスケアファンド 1号投資事業有限責任組合』(以下、「本組合」)は、バイオ・ヘルスケア産業を中心とした未上場ベンチャーへ投資を行うベンチャーファンドです。日本国内を中心としたバイオ・ヘルスケアベンチャーに対し、外部専門家や大学・研究機関・バイオ企業・製薬会社とも連携しながら、投資先企業に対する積極的なハンズオン支援を行うとともに、グローバルな製薬企業とのアライアンスも積極的に推進しながらバイオ・ヘルスケアベンチャーに対する多様な支援を行うことにより、投資先企業の企業価値向上を目指します。

本組合には中小機構のほか、独立行政法人日本貿易振興機構(略称:ジェトロ 所在地:東京都港区 理事長:石毛博行)により、外国企業との投資提携を図る『グローバルアライアンス推進スキーム』^{*}の認定を受けた外国企業TWi PharmaceuticalsおよびBristol-Myers Squibbの関連会社が出資します。なお、中小機構出資分を含め総額約40億円のファンド規模で設立されましたが、引き続き出資者の募集を行うことで、ファンド総額を拡充していく予定です。

引き続き、中小機構は、経済産業省ならびにジェトロとの連携を通じ、本スキームを活用し、外国企業の出資参画を促すことを通じて、投資先の日本企業の価値向上や海外展開を目指していきます。

<中小機構について>

中小機構は、日本の中小企業政策の総合的な実施機関として中核的な役割を担う経済産業省所管の独立行政法人です。全国 9ヶ所に展開する地域本部を通じ、中小企業の発展と地域振興の実現に向け、創業や新事業展開、販路開拓、海外展開、セーフティネットを含む経営基盤の強化をはじめとする中小企業のようなニーズに対し、経営アドバイス、共済制度、研修、ファンドを通じた資金提供など多様な支援メニューを揃えています。

※『グローバルアライアンス推進スキーム』概要

経済産業省は、外国企業の有する実用化ノウハウ、海外ネットワーク等の優れた経営資源を活用することによって、中堅・中小企業の海外事業展開等を推進するため、ジェトロが窓口となり、外国企業の要望等を中小機構をはじめとする関係機関につなぐ体制を整備し、外国企業との投資提携を支援しています。

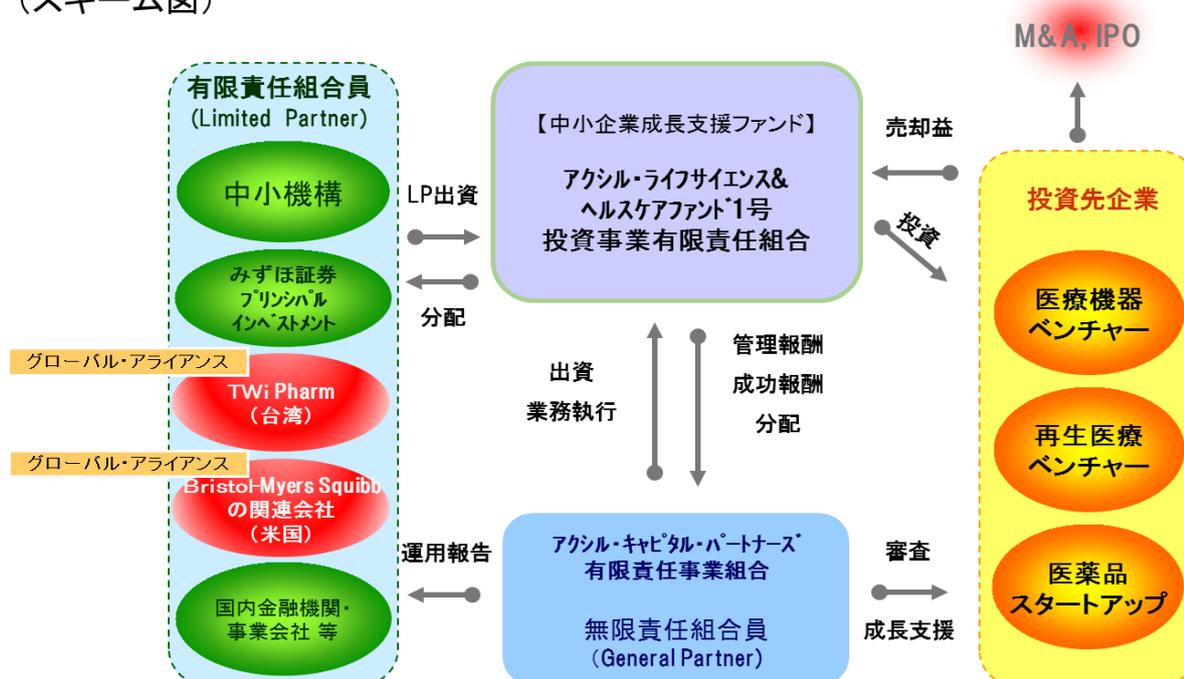
外国企業による出資参画・経営関与によって海外販路の拡大やオープンイノベーションの推進が見込まれる案件に対しては、中小機構が出資参画する「中小企業成長支援ファンド」の活用を促進します。同ファンドは、以下のように活用されることが期待されます。

①金融機関等の外国企業と中小機構がファンドに対して共同出資し、同ファンドから中堅・中小企業に対して投資

②事業会社等の外国企業とファンドが中堅・中小企業に対して共同出資

本スキームは、日本の中堅・中小企業の更なる海外展開に貢献するとともに、対日直接投資の拡大を通じた国内雇用の創出、地域経済活性化にも貢献することが期待されます。

(スキーム図)



<制度の内容及び実績について>

中小企業成長支援ファンドについて

http://www.smr.j.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_02.pdf

中小機構ファンド事業出資実績

http://www.smr.j.go.jp/supporter/fund_investment/frr94k000000178c-att/a1514192774916.pdf

【本件に関するお問い合わせ先】

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

ファンド事業部ファンド事業課 (坂本、藤倉)

住所：〒105-8453 東京都港区虎ノ門 3-5-1 虎ノ門 37 森ビル

電話： 03 - 5470 - 1673 (ダイヤルイン)